

右以上至極ノ備下十二町十リ
是ヲ一芝居トス

止戈樞要卷八十九終

止戈樞要卷九十 師律要略

從何行佐守丹滌人増業著

布陣四

夫備ヲ立捌ハ獅振竜三列九一之
格ヲ以テ習戰ノ陣法ヲ可知是備
立豎十二町横八町十リ如苗

一 凡對敵之當陣間遠近ハ
 多勢小人数或ハ將ノ謀時ノ様
 子又ハ地形ノ順逆ニテ大將ノ
 軍配不齊ト云伝大底左ノ里数
 可矩ト蹴出ヨリ押出ト
 ハ陣ヨリ四丁ハ力リ四方ヲ云
 凡ソ陣門ヨリ備ヲ押出ス伝一
 左前遊ニ右後荷之法ニテ出レ
 ハ猶陣門ノ外蹴出ニテ一勢々
 行伍ヲ調ヘ行儀ヲ正シテ備ヲ



二牽ス扱是ヨリ相誥ノ式也兼
而戰場ノ様芝居ノ善惡ヲ見置
キ其期ニ至テ地形ニ随ヒ備ヲ
立ル此之先ス遊軍ヲ以テ外張ヲ
掛用心ヲ力夕夕目羽ヲ打テ先
手ヨリ後備迄三列ヲ設此下知
武者奉行使番ヲ以テ指番スル
ナリ目羽ヲ打三列ヲ調而後外
張ノ遊軍モ其場ヲ解シ竜列ニ
加リ上大將ヨリ下武者迄馬上

押了也依之蹴出ヨリ五押出トハ
陣ヨリ踏出ス了也尤陣ニハ不
限居城ヨリ出勢スルモ同シ了
也大方一里余ニテ陣間二里半
三里モセヨ相互ニ一里余ツ
、詰寄敵間及十二町片足ヲ留
ル爰ニテ備ヲ疊ムナリ是迄ハ
大将以下諸士何茂馬ナリ備ヲ
立ルニ至テハ武者ハ馬上ヨリ
下馬シテ備ニ付馬ハ面ニ跡

一
武者ノ廻リヲ寄輪ヲ取り武者
士大將馬ニ打乗我支配一備ノ
町ノ變唄也
古法ニハ十二町ノ凱歌ニハ六
唄也
八四町四町凱歌ニハ二丁ノ變
用ユ故ニ變唄モ六町ノ凱歌ニ
代ハ六町四町勢ノ多少ニ依テ
テ凱哥ヲ揚ル丁ナリ古法ナリ
前章ノ関ノ丁ナリ叔一芝居ニ

一
ヨリ下リ得道具搔込膝甲ヲ組
使竜合スニ七五三貞ニ應関ヲ
作ル丁如式也
大合戦互ニ大備ヲ以テ挑ニ戦
ヲトキハ一旗トテ大備九一之
格ニモ手ノ及程ノ大身ヲ云勝
員ハ合戦諍合也凡武間ハ一芝
居ニシテ関ヲ作十三町ヲ一芝
居ハ爰爰ニテ凱哥ヲ揚ル丁ナリ
再ヒ爰ニテ関ヲ作ルニ於テナリ

速 二 真 ノ 等 應 同 先 ト 押
出 二 ノ 洹 ノ ス 二 ノ 六 ツ
来 ノ 洹 ナ 備 ル ノ 二 町 ム
間 見 也 レ 先 役 見 ノ ル
数 破 モ ハ 手 故 ハ 見 敵
延 ノ シ 二 二 先 手 手 ハ 味
縮 涉 先 ノ 随 手 手 云 方
ス 二 手 見 テ ス 二 一 前
然 テ 真 モ 押 ヌ 引 及 二 前
ル ハ 真 ノ 二 也 ヌ テ 二 ツ
片 備 洹 番 先 手 同 変 番 押
ハ 備 ナ 備 モ 真 此 二 番 備 誥

者 ヲ テ リ ム 位 ノ 将 ナ ヲ
ハ サ 押 足 ル 二 涉 凡 リ 調
鎗 セ ス 輕 内 テ 真 武 先 へ
ヲ ス 勿 モ 二 兼 ノ 者 手 起
搔 立 論 寝 押 而 渡 ヲ ノ
込 夕 矢 唄 止 難 リ 進 敵 太
ミ ル 玉 ヲ 八 折 一 ア ム 二 鼓
太 マ ヲ 不 流 起 尤 何 二 當 ヲ
コ 二 放 鼓 ノ 武 茂 序 ノ 備 打
ツ テ 操 二 ツ 法 ヲ 者 其 序 破 士 進
レ 押 千 ツ ア 進 所 破 大 丁

一
ハ 射 変 ス ス リ 扱 尤 當 キ
鉄 ル 唄 十 レ 勿 フ 小 ニ 尚
炮 役 十 リ 氏 論 物 馬 爰 人
足 人 下 二 先 故 印 マ 数
輕 来 旗 番 手 武 八 テ 引
段 矢 本 備 同 主 ノ 時 退 取
々 合 ヲ リ 八 未 ノ 跡 諱 馬 此
操 ヲ ス 矢 夕 見 三 印 二 大
ヲ ス ル 丁 ノ 馬 八 持 ス 乗 馬
シ 了 ノ 隊 馬 隊 ス ノ 印 ヲ
玉 終 鎬 下 隊 十 備 久 ヲ
ヲ レ ヲ 七 ト ナ ヲ 二 目

一
ノ ナ ナ リ 其 ハ 一 馬 夕 々
馬 ツ ツ 扱 場 其 ツ ハ 備 ニ
隊 テ ハ 其 所 備 レ 爰 ハ 遍
ノ ハ 爰 手 ノ ノ ス 迄 カ 遍
印 入 マ ノ 様 左 馬 跡 リ 唄
ニ ス テ 大 子 右 隊 二 也 ヲ
大 モ ハ 馬 三 又 ト 牽 行
馬 持 印 テ ハ ス ス 下 也
印 十 八 立 一 ル 是 是
ヲ 立 八 其 サ 方 也 是 八
ハ 依 氏 備 セ 一 馬 ヲ 敵
残 之 働 ノ ル 成 隊 ヲ 二
置 爰 二 印 十 氏 ト 先 當

敵變將ノ謀畧ニテ変唄後モ太
ヲ起真ノ洄ニテ進ムルナリ併
弓卒ヨリ一弓場ハ夕テ武者
リ見ハ夕リ免角可依時變次第
此場ヨリ昇長工ヲ聞ク一モア
ナリ又二町ノ遍唄ナラハ直ニ
隔テ聞ヒタルマニテ以ヌル
押シ昇長工ハ武者ハ跡一弓場
一弓場置テ真ハ洄ノ太鼓ニテ
キ武者ヲ通シ武者ハ弓卒ヨリ

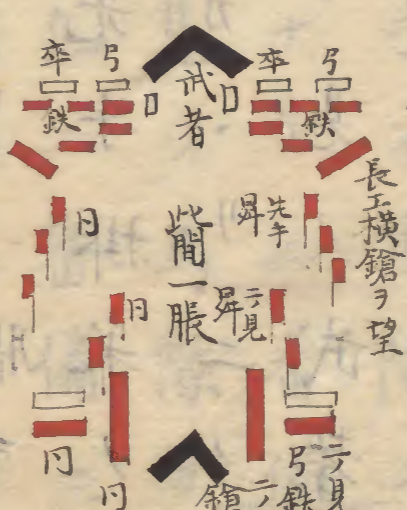
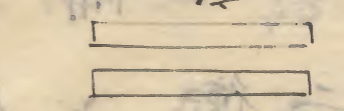
立堅メ夕ル巾昇長工左右ハ聞
ハナリテ左右ニ分レ段々ニ成
テ弓誥放ニスハ底鉄炮弓繰替
カ夕シト云氏大底鉄炮弓繰替
塩合ニ應スル下ナレハ兼示シ
柄ヲ聞テ武者ヲ進ムルニハ其
者進様有先ニ出夕リ此時昇長
五段ノ瀬越昇長柄クリカハ武
ノ所允一前三町押ツムル間ニ
飛シテ押ツムル此五段ノ瀬越

先手打詰ノ暇ニ番備モ先手ニ
随テ一ノ屯一町半置テ同押詰
ナリ先手打詰ニ及暇ハ二番備
カ先手ノ馬隊ノ備ハシ所迄押
詰ルナリ二番備ノ先手一先ノ
二ノ見ノ馬隊ヲ一丁ス、ム然
片ハ九二番備三丁ノス、ミナ
リ叔先ノ馬隊ヨリ越丁一丁ト
云ヲ二番ノ二ノ見共ニ一先ノ
馬隊ヲ一丁先ハ進丁ト心得ル

ハ誤ナリ如此時ハ先手一ツカ
ハテ行レヌ也先手ノ間タル長
工昇ヨリ一脹ヲ隔テ二ノ見ヲ
備ハ先手掛采ヲ取先手武者敵
ハ衝カ、リ二ノ見ノ昇ヲス、
メ二ノ見ノ武者同音ニ声ヲ揚
ケ先ノ武者ヲキヲリスル丁尚
大事アリ昇ヲス、ムル丁昇奉
行ノ下知ニアリ叔二ノ見ハ先
手打詰ニモ及フト見ルトキ弓

鉄抱昇ヲ間長柄目貫ニ立テ二
見ノ働ヲ可心掛ナリ

敵方



長横鎗ヲ望但武者敵ヲスレヤカニ切崩ハ横鎗ニ不及
長エラカシム塩ハ武者ヲカケ能コタ是敵横鎗ヲ入テ
衝崩ナリ

先ノ見敵変ニ依ヲ
ヒシキヲ解シタルハ
ニ番ノ先衆後詰ヲ心掛
ヘシ四具ノ間モ先ノ見
ニ同様ナルシ但変ニ可
依
先手長柄ノ働ハ是非横鎗
進ニアラス可應時変

一働タル足輕ハ武者同心眼ヲ明
段々ニ繰放シ拒ノ手ノ如ク左
右ノ間テ長柄ノ脇ニ立ルナリ
番



而后ニ見程ナリ此ノ中ヲ通り
三物頭トナルナリ

一 先手ノ武者カ懸ルト弓鉄炮拒
ノ手ノ如クナツテ左右一分レ
テ立ル其中ヲ二ノ見ノ鼻ヲス
メ弓鉄武者ノ眼ヲ誥テ通り
先手打誥ノ場ヲ越テツカレタ
ル先手ノ足輕ヲカユフテ立ル
ナリ必竟三物頭ノナナリ
一 二ノ見ノ武者ハ先ノ敵ツカユ
ル眼ハ中鎗ヲ入ルナリ敵ヨリ
中鎗ヲ入ル時ハ横ヲ討ナリ敵

横ヲ入レハ相ヲ討
一 敵敗スレハ先ノ鼻長柄ヲヌイ
テ跡ヲツムルナリ
一 二ノ見ノ卒ハ後誥ノ武者ノ左
右ヲ誥テ懸如此ノ敵ヲ追捲ル
事凡一前ニメ乗添ヲ懸追留ル
也
一 凡一前ノ時此眼先手ノ四具卒
ハ三物頭ニ備テ後敗ヲ待テ先
手ノ戦士敵ヲ追立進ム眼丁敷

隔ル丁戦士ト三物頭ト一前計
 ナリ扱三物頭トハ先手ノ戦ヒ
 勞レタル四具率打誥ノ場ニテ
 長昇
 鐵弓
 如此備ル也
 一ニノ見之長柄昇ハ芝居ヲシメ
 テ立ル也先ノ昇ト隔ル事凡一
 前

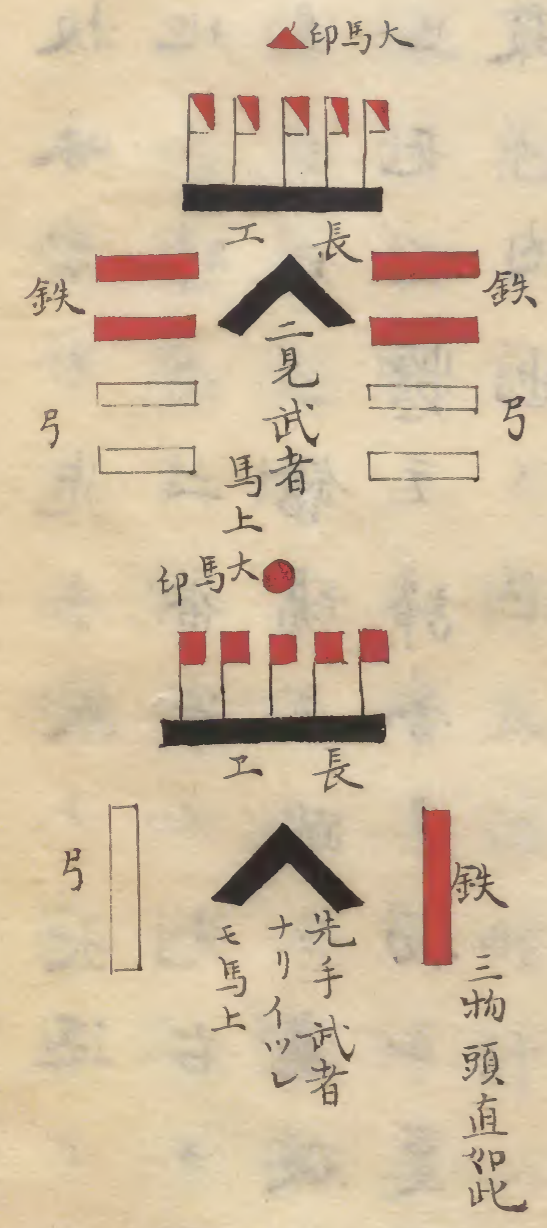
此時二番備ノ先ト戦士ノ間ハ
 九町



二見ノ武者昇長ニテ引付ニテ余
 ス、先武者ノ跡ヲカタメ居ル應変
 ニ武者敵、掛ル片ハ鎗尺ヲ攝ハ
 後誥ヲ待ナリ

一 敵敗北ノ時ハ先手ノ二ノ見ノ
 馬墜ヲ一町進ニ越テ三町餘ヲ
 三備ル也
 此戦士ト隔ル莫五町前備ノ先
 下ニ番衆ノ跡隔ル莫九町
 一如此ノ時節敵モシ胴勢ヲ以モ
 リ直シ大返ニ味方ノ先手ヲ追
 崩懸来叱ハニ番衆覆振ノ震動
 ニテ可討留者ナリ

一 先手一戦勝終テ一鹽付ニ
 付時ニ番備衆ノ中ヲ通馬墜
 付面ニ馬ニ打乗弓鉄炮ヲ跡
 左右ニ立昇長柄ヲ先ニ立繰上
 ル也



一 扱味方ノ先手敵ノ大返ニテ敗
北ノ時ハ二番衆ノ先右ヨリ押
出シ元ノ鎗場ヲ踏テ遍破ヲ行
ヒ无ニ懸テ諍合ヲ初ル莫二三
段ノ内也
一 二番備ノ二ノ見ハ二ノ先ヨリ
一幅去備ナリ取合ニ番合戦ナ
レハ尤鎗有也權變先手ヲモヤ
ウニ同シ
一 二番衆前備ト進延ル莫九町此

時前備御旗本左右股振列ヲ以
詰寄事ニ前也
一 龍列ノ小荷駄備後備遊軍ハ不
動備也振列ト相延ル莫七町半
二 番備ノ戦士ト振列ノ間隔ル
事凡二前ノ内五六町計ナリ若
振列合戦ニ及時ハ竜列三前押
詰テ急度場ヲ取也一鹽付タル
ヲハ芝居ヲ取タルト云一芝居
ニ二鹽付タル時ハ芝居ヲ踏ル

ト云ナリ

一右敵ニ獅列ヲ以テ二人鹽ヲ付

以時ハ敵ノ旗本迄戟衝柄群ノ

驟立物也此時前備左右服備ヲ

以崩力ヲ手誥人勝負ヲ可決

一

一

一

一

備之單的一段目

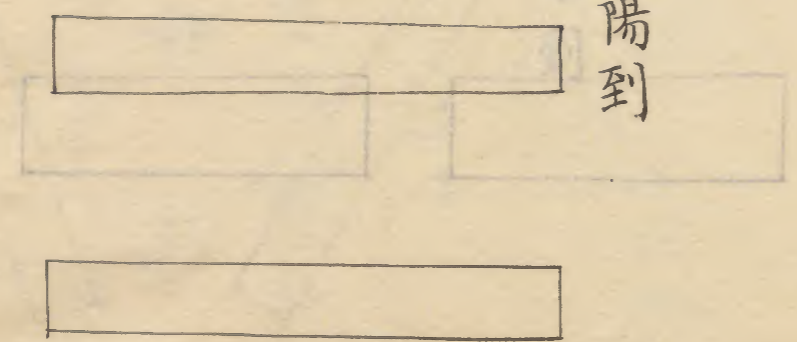
登焰到



登焰到是ハ鋒矢ノ
備ニテ鎗ヲ合ス登
陽無変ノ懸ナリ

陽無変ノ懸ナリ

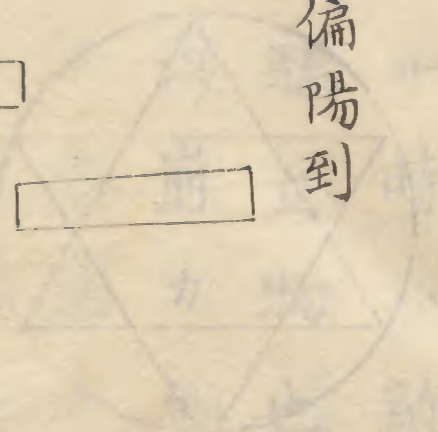
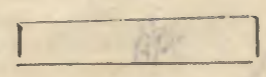
五内伝



正陽到

正陽到是ハ獅襲之
 備三ノ押寄ニ之見
 十ガヤリニ働ヲ打
 波ノ懸ト云正陽無
 變ノ懸ナリ
 迅雷之變ハニ之見
 備横相ヲ打
 反尾之變ハニ之見
 備越テ働

解之草由一



偏陽到

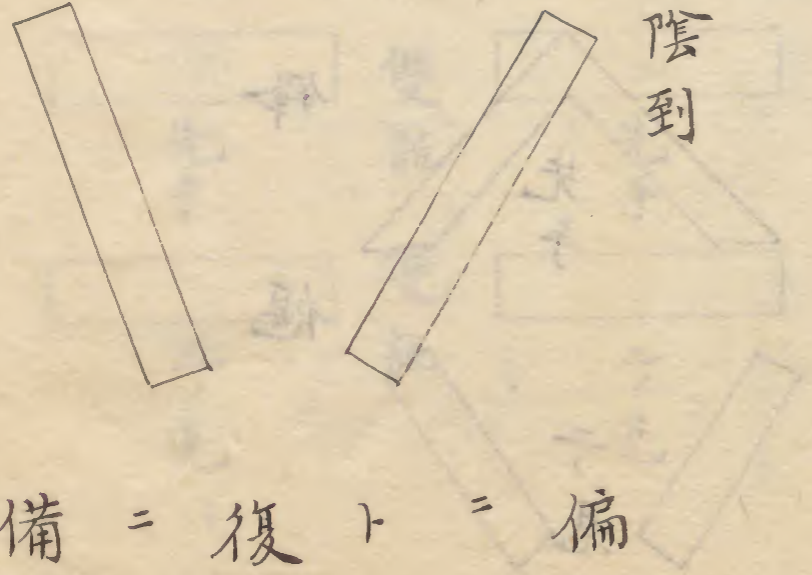
偏陽到ハ衡振之備ニ
 テ鎗ヲ合スニ之見十
 カ鎗ニ働ヲ開懸ト云
 偏陽無變之懸也
 長蛇之變ハ先手鎗ヲ
 合ス時ニ見横ヤリ
 ヲ入攻撃之變ハニ之
 見遅引ニ進ム先手ハ
 無二ノ懸ナリ

正陰到



正陰到ハ雙龍之備
ニテ鎗ヲ合ス兩手
懸ト云正陰無變之
懸ナリ
返翼之變ハ鋒涯ニ
テ左右一手ニ合テ
陽ニ懸ル敵ハ先手
ヨリ此變ヲ合サ
フ堰新之變ハ勝負
涯ニ鋒退ハ一

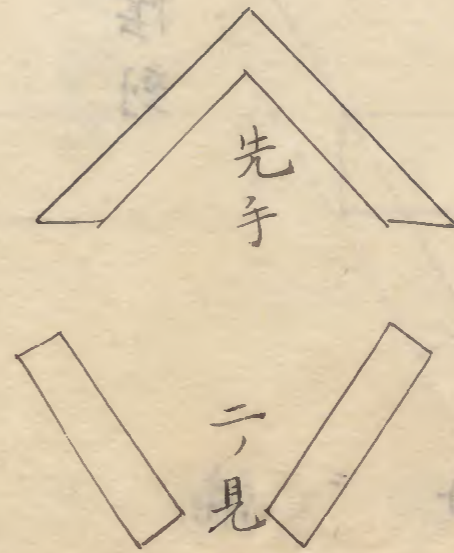
偏陰到



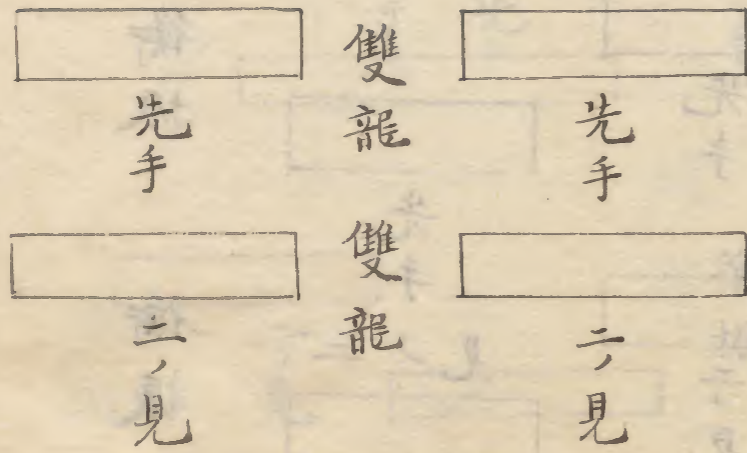
方横鎗ニ懸テ勝負
付也
偏陰到是ハ偃月之備
ニテ鎗ヲ合ス箕手懸
ト云偏陰無變之懸也
復震之變ハ鎗合ノ涯
ニテ陽ニ變シ鋒矢ノ
備ト化シ勝負付敵ノ
虚實ヲ不厭

備之軍的二段目

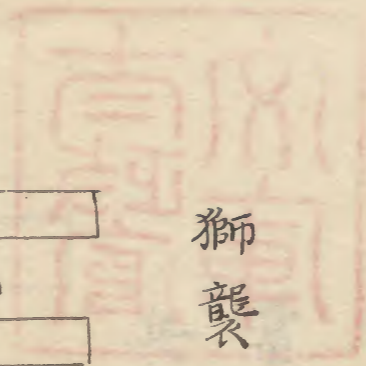
鋒
偃



先手ハ無二ノ懸
ナリ
ニノ見ハ敵敗北
ハ跡ヲ誥敵
大返ハ時ハ堰断
之變同越テ働ク
時ハ復震之變



先手ハ兩手懸ナリ
二ノ見ハ敵敗北ノ
時ハ復震之變同ツ
カエタル時ハウツ
ノ懸同横鎗ハ時
ハ復震ノ變同越働
ヲナス時ハ返翼ノ
變



先手

獅襲

二見

衡振

先手ハ開懸ナリ
 二ノ見ハ敵敗北
 ノ時ハ迅雷之變同
 室夕ル時ハ長蛇同
 横鎗ヲ入ル時ハ投
 撃之變同越働ヲナ
 ス時ハ復震之變

先手

衡振

先手

二見

見ノ二

衡振

先手ハ開懸ナリ
 二ノ見ハ敵敗北
 ノ時ハ跡ヲ誥敵
 大返ノ時ハ長蛇
 之變同ツカエ夕
 ル時ハ友尾之變
 同横鎗ヲ入時ハ
 復震之變同越働
 ナス時迅雷之變

止戈樞要卷九十終

右兩段之單的鍛鍊之時ハ敵ニ
當テ無量ノ働此中ヨリ流出ス
兵權應化ノ妙用ナリ



先手

獅襲

二見

雙龍

先手ハ打波ノ懸ナ
二之見ハ敵賊北ノ
時ハ跡ヲ誥彼敵大
返ヲナス時ハ復震
之變同窒タル時ハ
反尾同横鎗ヲ入ル
時ハ復震之變同越
働ヲナス時ハ返翼
之支

